

かわぐち

2007. 4月号 No.402

— 今月の主な内容 —

平成19年度施政方針(要旨) …… 2~5
 平成19年度予算のあらまし …… 6~10
 町の交流拠点施設の指定管理者が決定…11
 小高地区防災集団移転促進事業完了…12
 古紙回収事業を実施します ……13
 がんの予防のために ……14~15

— ほか —

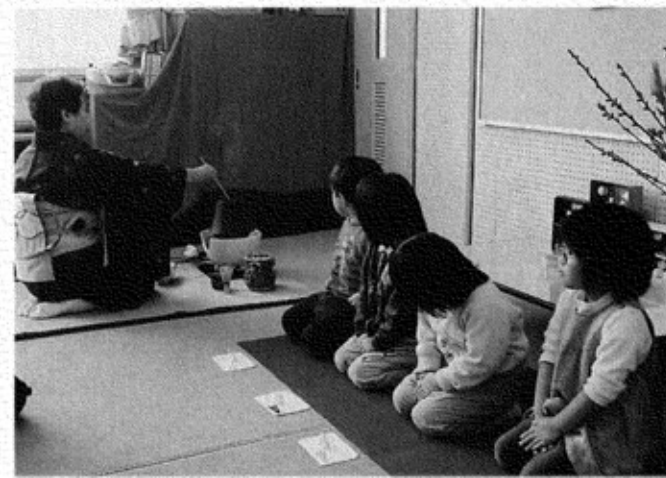


はじめてのお茶会

—西川口保育園—

3月2日、西川口保育園でひな祭りお茶会が行われました。

これは同保育園の保護者らが、ひな祭りに本格的な茶席を用意したもので、園児たちは部屋に入るときのお辞儀や干菓子の食べ方、抹茶の飲み方などを教わりました。抹茶を一気に飲んだ園児たちの感想は「にがい」「おいしい」などさまざまでしたが、初めての体験にみんなとてもいい笑顔でした。



人口のうごき

19. 3. 16現在 *()内は前回からの増減

男	2,556人	(-2)
女	2,779人	(-6)
人口計	5,335人	(-8)
世帯数	1,533世帯	(+1)

元気です!かわぐちっこ ①①⑥

たくみ 喜多村拓実 ちゃん (上河原・2歳)

おとうさん 豊和さん おかあさん 香里さん



家で飼っているアヒルと仲良しの拓実くん、アヒルと家の周りを元気に走り回っています。バイクのミニカーに乗ることが大好きです。お兄ちゃん、お姉ちゃんのマネをして何でもおしゃべりができます。天気の良い日には近くの山までお散歩することを楽しみにしています。好き嫌いなく何でも食べる拓実くんはカゼをひかず元気です!

俳句 (3月) 大内迪子先生選

特選句
 口笛に癖ある夫の雪払ふ
 針運ぶ窓辺に遊ぶ寒雀
 裸木の影ながながと引きにけり
 ねんねこの中に笑顔の在りにけり
 病む人に笑顔を見せて春を待つ
 入選句

新聞を繰返し読む冬籠
 病窓に日脚伸びしと言ひあえり
 寒鯉の泡ひとつぶを浮べけり
 心まで晴れ渡りたる春立つ日
 孫曾孫一人忘れしお年玉
 塞の神空高く煙上りけり
 七間の路地の雪道守る母
 雪の中我も唄ひし童唄
 虎落笛明日は我が身の話し聞く
 新築の隅にも有りし年の豆
 暖冬の連日月を仰ぎ見し



佐藤	山田	森山	三輪	真島	星野	藤田	中沢	上村	岡村	目黒	鈴木	喜多村	石坂	山田
信	登子	菊江	京子	セツ	きの	節子	昭一	たつお	佐和子	せつ	良仙	キヨ	シゲ	久子

■次会のお知らせ

4月7日(土) 生涯学習センター 13時から

明るい未来と希望の持てる川口町を築くために

平成19年度施政方針(要旨)



平成19年第3回川口町議会定例会の開催にあたり、私の町政運営に対する所信を申し上げますとともに、平成19年度予算案の概要についてご説明申し上げます。

はじめに

未曾有の新潟県中越大地震から3年を迎える本年度は、震災復旧から震災復興へのスタートの年です。無我夢中の2年間でした。震災3年を迎えるにあたり、

また、「よしとみ住宅」及び小規模改良住宅についても既に入居が完了しております。

(5) 仮設住宅

仮設住宅の入居世帯は10月末までに公営住宅入居等の見通しがたっており、被災者の生活が一刻も早く再建できるよう支援してまいります。

仮設住宅用地として使用していた学校グラウンドは、田麦山小学校と泉水小学校は夏休みまでに、川口小学校と川口中学校は、年内中に引き渡しできるよう準備を進めてまいります。

なお、仮設住宅用地として土地を提供いただいた所有者の皆様は、心より感謝申し上げます。

公共土木

「川口橋架替事業」は、平成19年度から、橋梁上部工が施工され、平成20年度供用開始を目指して事業が進められております。旧橋撤去は2カ年の計画で、事業の完了は、平成22年となる見込みです。



町民の元気回復とご支援をいただいた全国の方々に感謝の意を表するため、「お陰様感謝デー」を設け、笑顔と元気が戻った川口町にご来町いただく記念行事を検討しているところであり、町民こそごとの参加をお願いします。

川口町が町制を施行して50年、この節目の年に、選挙公約であります合併問題について、合併先を選ぶ住民投票が、去る2月4日に直接請求に基づき実施され、有効投票の60・21%、2041人の方々が合併の相手先として長岡市を選択しました。

住民投票の結果を町議会議長・副議長とともに、直ちに長岡市・小千谷市の両市長と両市議会議長にお伝えし、町として再度長岡市との合併の協議を進めて頂きたい旨要請したところです。

「町づくり交付金事業」で進めている東川口環状線は、平成19年度の完成に向けて工事を進めており、克雪対策、洪水対策についても、東川口震災復興委員会と具体的な計画について協議を行いながら、一部着手しております。

町の中心市街地の復興が急務であることから、引き続き東川口震災復興委員会を中心に、拠点形成・住環境・生活道路・克雪対策について、協議検討を行っております。

東川口の再生に向けた取り組みでは、地域活動の中から町中心部に賑わいを創出するために、地域住民と連携し、中心市街地づくりを進めてま

合併の協議をお願いするにあたっては、厳しい財政状況を健全化するため町民一丸となつて真摯に取り組み、改善の方向性を示し、相手先の理解を得る必要があります。町では、財政健全化に向け「川口町財政健全化推進委員会」を設置し、委員の皆さんから町の行財政全般について熱くご審議いただき、先頃、中間答申をいただきました。答申内容につきましては、平成19年度から実施すべく新年度予算に反映しております。

災害復旧・復興

(1) 義援金

全国の皆様から寄せられた義援金は、第3回配分として1月31日までに被災者の皆様へお届けさせていただきました。

た。

県内外からのご支援・ご声援に対し、町民を代表して心より御礼申し上げます。

なお、義援金の配分残額は約5千万円です。町配分委員会においては、今後は地域の復興に向けた配分についても検討していくこととしておりますのでご承知おきくださるようお願いいたします。

(2) 農地災害・養鯉池災害

農地農業用施設災害復旧事業は、平成17年、18年に豪雨・豪雪によって新たな災害が発生しており、これらの復旧工事の一部が、平成19年度へ繰り越されます。

平成19年度には、全ての災害復旧及び災害関連の事業が完了するよう進めています。養鯉池の災害復旧工事につ

きましては、皆様の協力をいただき平成18年度に全て完了できました。

(3) 公共土木施設災害

町道関係の災害は、平成18年度に持ち越した繰越工事の早期完成と震災後、新たに発生した災害の復旧に努めておりますが、一部、平成19年度へ繰り越されます。

県営事業は、道路・河川の災害復旧工事が急ピッチで進められておりますが、早期完了に向けて更に働きかけるとともに、治水、砂防事業などを要望していく考えです。

(4) 罹災者公営住宅等

和南津、西川口、相川、貝ノ沢、田麦山の5地区で入居が完了し、残る東川口地区も平成19年秋の完成を目指し、工事を進めております。

グリーンツーリズムの促進、更なる起業家の育成を支援し、域内の経済循環に努めていく考えであります。

商工業の振興

商工業の復興は、町の活性化や町民の利便性、雇用の確保を図る上で重要な課題です。

経済活動の再生、復興に向けて、商工会や事業主と連携し、既存制度や震災復興基金の活用など、積極的に支援していく考えです。

特に、町づくりの重要な条件の一つである町中心部の商業機能の再生と活性化に向けて、東川口震災復興委員会との協働で検討を重ね、平成19年度は住民の主體的な取り組みを具体的に支援してまいります。

雇用対策では、震災復興基金の被災地域緊急雇用創出事業を活用し、雇用の場を確保することに努めてまいります。

農業土木

町道につきましては、新規事業は抑制し、経費の節減に努める考えです。

継続中の「牛ヶ島西川口線(通称横根坂)につきましては、平成19年度に完成する見込みとなっております。

継続中の「農村振興総合整備事業」の小和北地内、斎場に通じる区間については、平成19年度から「むらづくり交付金事業」として事業名を変更し実施します。

震災による手戻り工事が平成18年度に完了したので、残事業の早期完了に努めます。

「農免農道整備事業」は、県においては4カ年の継続費予算として、平成22年度の完了を目指しています。

農業振興

今後はますます「売れる米」作りが重要となつてまいります。

町としては、「魚沼ブランド」の名に恥じない高品質、

良食味米の生産を図るべく、特別栽培米の倍増計画の推進や、自然環境にやさしい水稻のエコファーマー取得を支援して、品質の良い売れる米作りを推進していくとともに、担い手となる農業生産法人等の育成に向けて支援していきます。

特に、米の生産調整につきましては、前年の米の需要実績等を考慮した中で国・県を通じて町に需要量情報が提供され、町、農協、土地改良区、農家等関係団体で組織する協議会及び生産調整方針作成者である農協等の集約業者が主体となって配分を行うこととなります。

園芸作物につきましては、交流物産館「あぐりの里」での農産物・加工品の売上も順調に増加し、施設での総売上額が年間で1億円を超過するようになりました。

今後は、「あぐりの里」を販売拠点として生産、加工・販売による農業の産業化の推進と、地域内にヒト、モノ、カネの豊かな循環をおこす「地域経済循環」の仕組みを構築するため、体験型交流や

観光・交流の復興、促進

現在建設中の宿泊施設は、7月に一部営業を開始し12月にグランドオープンすべく、全力を上げて取り組んでおります。

また、4月から温泉施設及び農村体験宿泊施設に指定管理者制度を導入し、民間活力によるお客様サービスの向上と運営の効率化を図り、誘客増に取り組みまいります。

将来的には、良質な温泉を利用した健康関連産業の新たな起業の検討とあわせて、都市公園施設全体について指定管理者制度導入を視野に入れ、「交流人口の拡大」と「地域



経済の活性化」の重要な拠点として、構築していく考えです。

一方で和南津、木沢、田麦山、荒谷など各集落では、集落の再生と、交流を柱とした住民の主體的な活動が進められています。今後もこれらの活動を支援し、地域資源や特性を活かした自然体験や農業体験、農家民泊など田舎暮らしを楽しむ企画づくりを進め、宿泊施設と連携した、体験型交流の仕組みづくりを行います。

また、狛江市との交流が20周年を迎えますので、両市町において「記念写真展」の開催や「交流20年のあゆみ」の編集、被災した「友好の碑」の改修を行い、更なる住民交流の拡大に努めていく考えです。

また、町内の集落や団体、グループなど様々なメンバーが参画し、内外に交流情報を発信しながら、多方面との交流事業を活発に展開できるように、交流の窓口となる体制づくりを進めていく考えです。

集落の再生と住民自治

中越大震災で大きな痛手を受けながらも、各集落では、ボランティアの支援を受けながら、人や地域の絆を再認識し、集落の再生に向け住民主体の地域づくりが芽ばえています。

行政の広域化の中で「川口が川口であり続ける」ために、このような地域の課題解決に向けた住民の主體的な取組みを積極的に支援し、自立した住民自治形成を促進し、地域住民と協働して「共創のまちづくり」を展開していく考えです。

福祉・保健

誰もが住み慣れた地域で安心して、子どもを産み、育て、健康で暮らせるまちづくりが何より大切であり、やさしさと思いやりにあふれた、福祉施策の充実を図ってまいります。

町内を循環する町営バスについては、現行のスクールバスによる運行から専用のワゴン車による運行に変更し、高齢者など交通弱者の生活の足として、更なる利便性の向上に努めていく考えです。

社会福祉の推進につきましては、町民が何時でも何処でも気軽に、福祉に関する相談や助言ができる窓口の充実を図りながら適切なサービスの提供に努めてまいります。

また健康教室や各種介護サービス業務を積極的に推進してまいります。

昨年4月に介護保険制度が改正になり、新規に地域密着型サービスが創設、民間社会福祉法人による介護施設「健康倶楽部かわぐち」が12月1日に開設し、家族の負担軽減と在宅福祉の充実が図られるものと考えております。

障害者福祉は、「障害者自立支援法」に基づき、平成18年度に策定した「障害福祉計画」を基に、障害者の自立を支援してまいります。

保育園は、延長保育や一時保育、障害児保育、乳児保育など、より一層の充実を図るとともに、子育て支援センターを中心に子育て相談、育児講座等の充実、推進に引き続き

き努めてまいります。

保健事業につきましては、生活習慣病及び認知症の予防に着目した効果的な健康づくり推進事業を積極的に進めてまいります。特に、母子保健検診事業、感染症予防接種事業、老人保健事業等の展開を図るとともに、健康教育、健康診査、訪問指導等の実施により生活習慣病の早期発見、予防に努めてまいります。

なお、福祉保健事業は、多額の費用を要することから、利用者における経費の負担導入にご理解を賜りますようお願いいたします。

また、中越大震災の後遺症として「心的外傷後ストレス障害（PTSD）」などが心配されますので、今後も引き続き心のケア対策に全力を期してまいります。

戸籍

平成6年6月に戸籍法改正により、戸籍電算化事業がスタートしております。戸籍電算化を行うことにより、戸籍謄抄本発行の時間が大幅に短縮され、戸籍届書の受理後、即時交付が可能となります。

当町においても、住民サービスの向上と戸籍事務の効率化、迅速化を図るため、平成20年1月からの戸籍コンピュータシステム稼働に向けて準備を進めてまいります。

環境

ごみ減量化対策の一貫として、新たに古紙回収事業を実施するとともに「資源物集団回収」への支援及び生ごみ処理機購入助成の継続実施により、ごみの減量化と再利用に取り組みます。

また、ごみ処理手数料は、総額1億円余りを要する処理費用が財政圧迫の一因となっていることから、世帯の構成に応じた料金体系に改定を行うとともに、早い時期に現在

学校教育

学校教育では、教育環境をいかに整備するかが、重要な教育政策課題です。

複式学級の解消と適正学校規模の確保による教育効果の一層の向上のため、小規模校である「泉水小学校」と「田麦山小学校」を、平成20年4月1日を目標に、川口小学校へ統合することについて、PTA・地域住民と十分話し合いを進める考えです。

いじめの対応では、各校で実施の「生活アンケート」や「ふれあいデー・子どもを語る会」等を通し、また、日常で得た情報を、学校全体で共有化し、更に、家庭・保護者との連携強化を図ることが大事です。こうした体制づくりと機能を再点検し、いじめを許さない学校づくりを努めてまいります。

子どもたちの豊かな心を育むために、子どもたちの内面に根ざした道徳教育の充実に

取り組みます。

「かわぐちっ子クラブ事業」や「放課後児童ふれあい広場」による取り組みを支援し、子どもたちが生き生きと交流、活動できる場づくりを推進してまいります。

また、様々な不安や悩みを抱えている子どもたちに、適切な対応をするため、引き続き、「心の相談員」を配置し、子どもたちが安心して学校生活を送られるよう努めてまいります。

学力向上につきましては、基礎となる知識や技能を確実に身に付けさせることが重要であり、引き続き魚沼市と共同して算数・数学、国語の指導主事を確保することにより取り組んでまいります。

また、「語学指導を行う外国青年招致事業」を継続し、中学校におけるコミュニケーション能力の向上と、小学校における国際理解教育の推進を図ります。

更に、介助員を配置し、特別支援教育の充実を図るとともに、震災を教訓に、「防災副読本」を新たに作成し、防災教育の充実を図ります。



生涯学習

「学びの里大学」を中心に、町民の主體的な活動を支援し、一層の生涯学習の推進に努め

なお、震災による児童・生徒の心のケアや極め細かな学習支援のため、新年度も教育復興加配教員を確保し、カウンセラー派遣事業の実施を県教育委員会に強く要望しているところである。

「総合的な学習」においては、将来を担う子どもたちの「生きる力」の育成を目指し、「ふるさと学習」や「農業体験学習」、「環境教育」の推進を通して、子どもたちの豊かな人間性の育成に努めてまいります。

ていきたいと考えております。

川口温泉の温水プール・トレーニングルームは、指定管理者制度導入により効率的な管理運営を図り、町民の健康づくりに努めてまいります。

「荒屋遺跡」につきましては、県の協力をいただきながら、遺跡の保存、活用に向けた「管理計画等」の策定に向けて取り組み考えです。

おわりに

以上、町制運営の所信と平成19年度予算案の概要を申し述べさせていただきました。

町民各位には公共料金の値上げという負担増をお願いすることが財政の健全化に向け、ご理解を賜りますようお願いいたします。

町としてもひつ迫した財政状況の改善を図るため、行財政の刷新・合理化に努めながら、明るい未来と希望の持てる川口町を築くため、町民とともに自主的・創造的行政運営を行うこととしていく所存です。

ふるさとへの明るい未来に向けて

平成19年度予算のあらまし

平成19年度一般会計と6つの特別会計予算が町議会3月定例会で可決成立しました。平成19年度当初予算のあらましについてお知らせします。

行財政改革で超緊縮型の予算編成に

今年度の一般会計当初予算は、歳入歳出総額約29億1千万円で、前年度と比較し約14億2千万円(32.8%)の大幅な減額となり超緊縮型の予算編成となりました。

財政の危機的な状況を踏まえ、平成21年度に到来する町債償還のピークに備えるため、基金の取り崩しを行わず、新規の町債を最小限に抑制し徹底した予算のスリム化を行いました。

予算の編成では、限られた財源を緊急性の要する重要施策に重点的に配分する一方で、町財政健全化推進委員会及び庁内行政改革推進検討委員会からの答申を取り入れながら、人件費の削減や公共工事の見直し、消耗品費や光熱水費等の徹底した節約などの経費削減に努めました。

(前年度比32.8%減)

歳入

町税は、約4億9千万円で国からの税源移譲や震災復興関連企業の業績が好調なことなどから個人町民税と法人税の増加により、前年比約4千万円の増加が見込まれます。

町の最も大きな財源である地方交付税は、約14億8千万円で町債の返済額が増えることなどから前年比約2億円の増加が見込まれます。

指定管理者制度を導入し、温泉施設などでの収入は指定管理者の収入になることから使用料及び手数料は約7千万円、諸収入は約1億2千万円の大幅な減少が見込まれます。

歳出

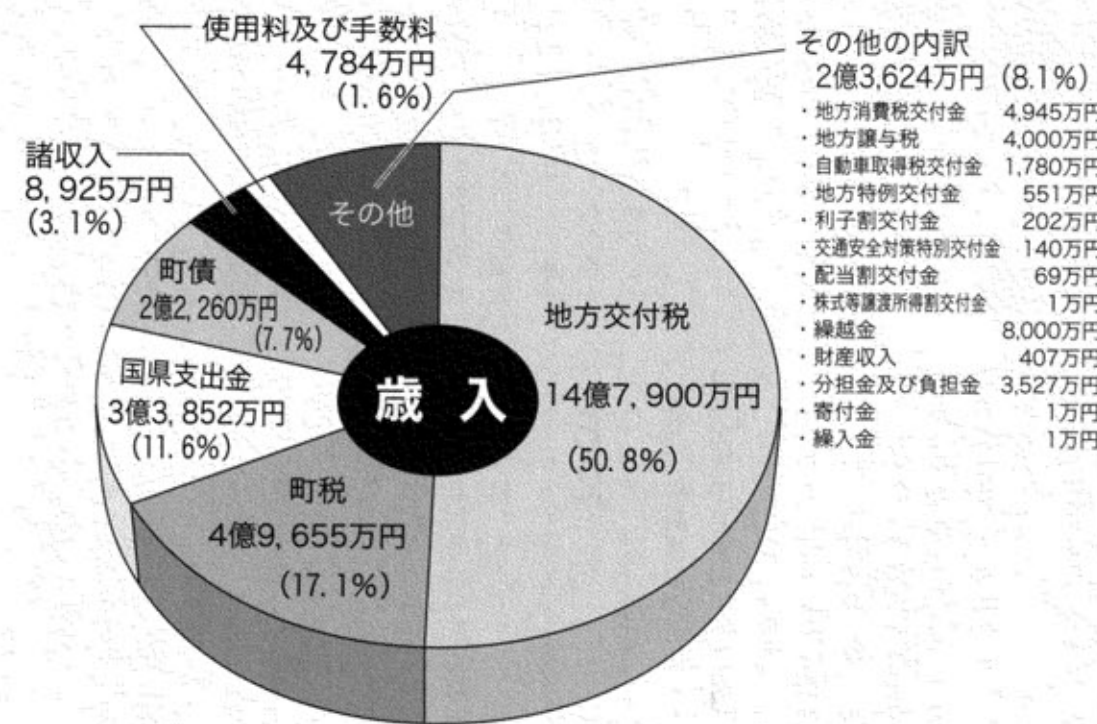
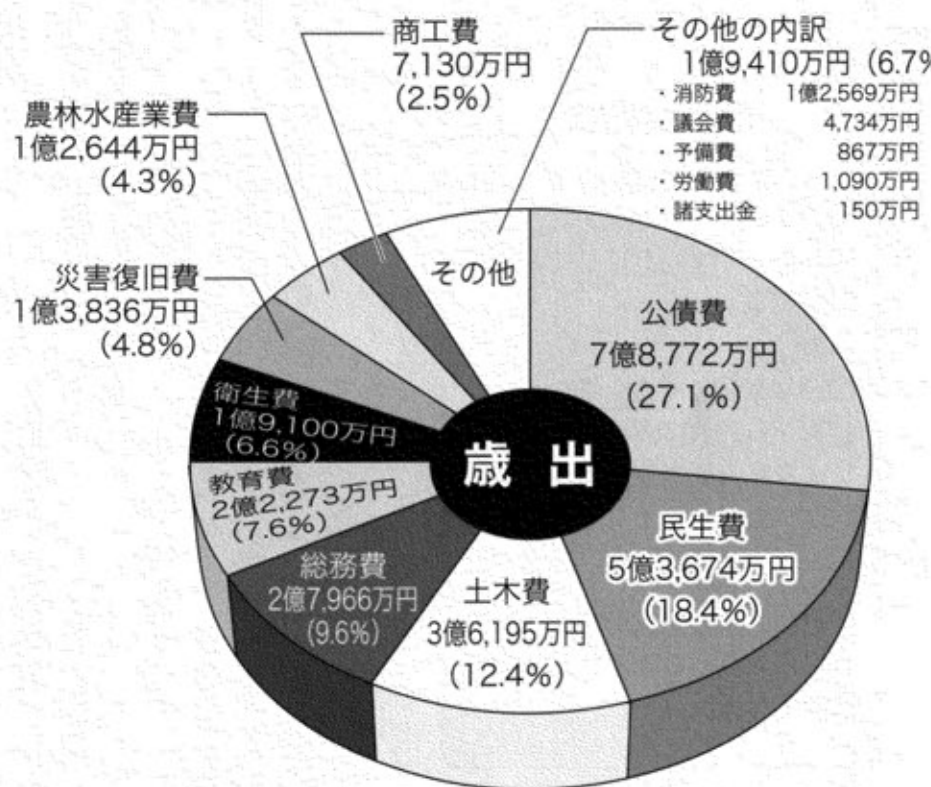
また投資的経費の大幅な削減を行ったことで国・県支出金は約3億6千万円、町債は約4億4千万円の大幅な減少が見込まれます。

既存事業を徹底的に見直し、緊急性の高い分野を中心に事業の再構築を行いました。普通建設事業費は約1億9

一般会計歳出予算性質別分類 (使い道で見る歳出)

公債費	7億8,772万円
人件費	5億1,624万円
扶助費	1億3,799万円
物件費	3億8,185万円
補助費等	3億1,802万円
繰出金	3億2,847万円
災害復旧事業費	1億9,116万円
普通建設事業費	1億9,224万円
その他	1億3,831万円
合計	29億1,000万円

千万円で事業の抑制、見直しにより前年比約7億8千万円の減少が見込まれます。また、温泉施設に指定管理者制度を導入することで前年比約2億3千万円の歳出抑制が見込まれ、水道、下水道、ガスの公共料金を見直すことで特別会計への繰出金が約3億3千万円で、前年比約6千万円の減少が見込まれます。さらに議員定数の削減、職員の給与削減、新規採用を行わないこと等により人件費は前年比約9千万円の減少を見込んでいます。一方、公債費は温泉施設等の町債返済額の増加などにより前年比約1億3千万円の増加を見込んでいます。



平成19年度特別会計予算

総額25億9590万円 (前年度比1.1%減)

○国民健康保険事業

5億3000万円 (5.8%増)
1日人間ドック助成事業の充実を図り、生活習慣病の早期発見・治療に努め医療費の抑制を図ります。
高額医療費が国保財政に与える影響を緩和し、財政の安定化を図るため保険財政共同安定化事業を実施します。

○介護保険事業

4億3600万円 (0.5%減)
平成18年度に大幅な制度の見直しが行われ、介護予防の重視と、地域密着型サービスの充実が図られました。
今後も高齢化が進みます進む中で、介護サービスの充実と、安定した財政運営に努めます。

○老人保健事業

7億2400万円 (3.2%減)
震災以降、当町の1人当たり老人医療費は県内でも上位に位置しています。医療費通知、レセプト点検の強化、広報活動等に努め医療費の抑制に取り組みます。
平成20年4月からスタートする後期高齢者医療制度の周知を行い、同制度へのスムーズな移行を促します。



○簡易水道事業

2億7300万円 (19.2%減)
川口橋の架替事業の進展に伴う水道管の添架事業を行います。
災害復旧工事に伴う町債の返済額が増加傾向にあり、人口の減少により使用量が減少することが予想されるため、水道料金の見直しを行います。

○下水道事業

3億4500万円 (4.2%増)
川口橋の架替事業の進展に伴う下水道圧送管の添架事業を行います。
震災の影響により、不明水が大量に流入し、汚水処理費用に影響が出ていますので、早期に対策を図ります。

○ガス事業

2億8790万円 (7.6%増)
人口減少や他燃料への転換等により売上高は減少傾向にあり、災害復旧工事に伴う町債の返済が始まることから、ガス料金の見直しを行います。
水道・下水道と併せて川口橋の架替事業に伴うガスの添架事業を行います。また、保安対策として、球形ガスホルダーの機能維持確認のための開放検査を実施します。

訂正とお詫び

広報かわぐち3月号3ページに誤りがありました。正しくは次のとおりです。訂正してお詫びいたします。

「誤」

○12月議会で町議会議長定数が12人から10人に削減されたことによる議員報酬等を削減

「正」

○町議會議員定数が14人から10人に削減されたことによる議員報酬等を削減

予算の主な使いみち

(平成19年度一般会計)

今年度は、次のような事業を予定しています。

総務費：2億7966万円
(前年比30.9%減)

選挙に係る経費のほか、町営バスの運行の見直しや、戸籍の電算化業務、まちづくり支援事業、狛江市との友好の碑改修工事などの経費を計上しています。

- 選挙費 (県議会議員、町議會議員、参議院議員) 1263万円
- 町営バス 653万円
- 庁舎修繕工事 215万円
- 戸籍電算化関連経費 136万円
- まちづくり支援事業 150万円
- 友好の碑改修工事 100万円

民生費：5億3674万円
(前年比2.1%減)

平成20年度からスタートする後期高齢者医療制度への移行関連経費を計上しているほか、障害者の自立支援、子育て支援、高齢者への支援などの事業にかかる経費を計上しています。



- 障害者自立支援費 4800万円
- シルバー人材センター補助金 100万円
- すこやか誕生祝金 130万円
- 児童手当 4012万円
- 老人保健措置費 1704万円
- 後期高齢者医療広域連合負担金 663万円
- 敬老会補助金 140万円
- 町老人クラブ補助金 127万円
- 重度心身障害者、ひとり親家庭医療費助成 1138万円
- 乳児・幼児医療費助成 733万円
- 子育て支援センター費 324万円
- 保育園運営費 1億436万円
- 衛生費：1億9100万円
(前年比21.6%減)
- ごみ減量化対策として、生ごみ処理容器購入費補助金、資源物回収奨励金に加えて新たに古紙回収事業を実施します。保健事業については、引き続き生活習慣病の予防、早期発見に努めます。
- 小千谷地域広域事務組合負担金 (ごみ、し尿分) 9734万円
- 一般廃棄物収集業務 1669万円

生活習慣病予防事業 (基本検診、各種がん検診) 1426万円

- ごみ減量化対策 68万円
- 生ごみ処理容器購入費補助金
- 資源物回収奨励金
- 古紙回収事業



農林水産業費：1億2644万円
(前年比68・5%減)

農地・農業用水等の資源の適切な保全管理を行うため、農地・水・環境保全向上対策事業の経費を計上しています。

- 中山間地域等直接支払制度補助金 1632万円
- むらづくり交付金事業 1010万円
- 農地・水・環境保全向上対策補助金 528万円
- 県営農免農道整備事業 179万円
- きのこ王国支援事業補助金 135万円



商工費：7130万円
(前年比79・9%減)

町商工会への補助金、東川口賑わいづくり支援事業補助金等、商工業の復興にむけた支援を行います。

- 案内誘導灯設置工事 700万円
- 川口まつり実行委員会補助金 300万円
- 案内看板書替工事 210万円
- 町商工会補助金 160万円
- 東川口賑わいづくり支援事業補助金 100万円
- 雪洞火ほたる祭実行委員会補助金 10万円
- 商工関係への貸付 1680万円
- 地方産業育成資金貸付
- 商工組合中央金庫貸付

土木費：3億6195万円
(前年比54・8%減)

町営住宅の駐車場整備事業として東川口り災者公営住宅の建設に伴う駐車場整備を行います。継続中の町道牛ヶ島西川口線道路改良事業については年度内完成の予定です。

地方道路交付金事業 1億円

町営住宅駐車場整備事業 3600万円
克雪住まいづくり支援事業補助金 275万円

消防費：1億2569万円
(前年比15・6%減)

小千谷地域広域事務組合負担金や消火栓の新設工事負担金を計上しています。

- 小千谷地域広域事務組合負担金 (消防分) 1億389万円
- 消火栓新設工事負担金 100万円



教育費：2億2273万円
(前年比32・4%減)

語学力、コミュニケーション能力の向上と異文化交流を図るため引き続き外国人青年招致事業を行います。小・中学校の防火シャッターに安全装置を設置することで、児童・生徒の安全を確保します。

- ALT英語指導助手 529万円
- 奨学金貸付 864万円
- 小・中学校防火シャッター安全装置設置工事 375万円
- 社会科副読本作成 240万円

災害復旧費：1億3836万円
(前年比60・6%減)

災害復旧工事はピークを過ぎたことで、事業費を大幅に削減しています。

- 農地農業用施設災害復旧事業 3079万円
- 林業施設災害復旧事業 1140万円
- 道路橋りょう災害復旧事業 8558万円
- 河川災害復旧事業 749万円
- 公立学校施設災害復旧事業 310万円

町の交流拠点施設の指定管理者が決定

民間のノウハウを活用し サービスの向上と経費の節減に期待

町では民間事業者のノウハウの活用や経費節減のため指定管理者制度を導入し、温泉施設などの管理運営を全て任せる指定管理者に「株式会社えちご川口農業振興公社」を指定しました。

指定管理者制度とは

平成15年の地方自治法の一部改正により、今まで公的な団体だけが可能であった町の施設について、民間事業者等を含め、地方公共団体が指定するものに管理を行わせる「指定管理者制度」が創設されました。

この制度は、多様化する住民ニーズに、より効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間事業者等のノウハウを活用しつつ、住民サービスの向上とともに、経費の節減等を図ることを目的としています。

指定管理者制度を導入する施設と募集の方法

- 4月から導入する施設は、町の交流拠点施設である次の4施設となっています。
 - 健康増進施設(温泉施設)
 - 農村体験宿泊施設(遊亀庵)
 - 交流物産館(あぐりの里)
 - 研修宿泊施設
- 町では、これまでに指定管理者を定めるため、1月下旬にホームページや広報かわぐちをとおし指定管理者の募集を行いました。

4施設とも「株式会社川口農業振興公社」を指定管理者に指定

今回の指定管理者募集には、(株)えちご川口農業振興公社1社から応募がありました。2月中旬、住民の代表を交えた選定委員会において事業計画書の内容確認や聴き取りを行い、選定基準に照らし審査を実施、同社を候補者として選定し、町に報告しました。これを受け、町として最終判断を行い、「(株)えちご川口農業振興公社」を指定管理者として指定する議案を3月議会に提出し、議決されました。管理運営はすべて指定管理者が行います。

今回の指定管理者制度導入により、利用料金や飲食、物販など、施設での収入は指定管理者の収入となり、原則と



してこの収入で施設の管理運営をまかなう独立採算性となります。(あぐりの里では経費の一部を指定管理料として支払い。)

これにより、お客様サービスの向上と運営の効率化を図り、誘客の促進につながることを期待され、更に町財政の負担の軽減を目指します。

新しい管理運営体制となる各施設について、今後とも町民の皆さんの更なるご利用をお願いいたします。

農村振興課 問い合わせ 89-3113



環境にやさしい農業を目指して研修会を開催
3月4日、JA北魚沼川口支店において、町の主催により環境にやさしい農業推進研修会を開催しました。これは、安全・安心な農畜産物に対する消費者ニーズが高まる中、農業が本来持っている自然循環的な機能を十分発揮させた環境保全型農業を推進するために行ったものです。当日は約50名が参加、環境保全型農業の現状や重要性について研修しました。町では、今後更にPRや研修を行い、環境保全型農業に取り組む生産者の拡大を図ることを目指しています。農村振興課 問い合わせ 89-3113

コミュニティ再生に向けて

小高地区防災集団移転促進事業完了

平成17年度から進めてきた「防災集団移転促進事業」が集会所建設建築工事の完成により全事業を完了しました。

事業内容は

用地取得や19区画の宅地造成をはじめ、道路やライフラインの整備、緑地、広場の整備、集会所建設の建設、住宅建築資金等の利子補給などの事業が行われました。現在18戸の移転が完了し、



西川口小高地区

移転先の地区名は、4月から「西川口小高」となります。

今後のコミュニティ再生に向けての取り組み

今後、町指定文化財である「小高棒踊り」の継承や、「小高地域大運動会」の復活など、震災前の伝統をどのようにに継承・復活させるか、住民全員で検討していく予定です。

また、今年度は新潟県の支援による「集落の木」移植事業で、小高地区内の桜の木（ソメイヨシノ）を移転先に移植し、復興のシンボルにする取り組みを始めます。



小高集会所

事業の概要

- ・用地取得 14289㎡
- ・住宅用地 5840㎡
- （1区画 約314㎡）
- ・道路（幅員7m）延長 494m
- ・集会所施設 1棟
- （木造2階建 1F54・65㎡ 2F44・72㎡）
- ・広場整備 550㎡

問い合わせ 企画商工課 ☎89-3112

西川口に行政区を新設します

4月1日から小高地区の集団移転団地及び西川口地区り災者公営住宅に新たに行政区（地区）を設置し、連絡長を置くことになりました。



陽向地区

した。新たな行政区の名称は次のとおりです。
○小高地区の集団移転団地の地区名称
西川口小高（にしかわぐちこたか）

○西川口地区り災者公営住宅の地区名称
陽向（ひなた）

問い合わせ 総務課 ☎89-3111

役場の窓口業務が午後5時30分までに

4月1日から役場の勤務時間が変更になります。これにより窓口業務が午後5時30分（変更前は午後5時15分まで）までになります。

問い合わせ 総務課 ☎89-3111

古紙回収事業を実施します

4月から各地区の指定回収場所で月1回収集

町では、ごみの減量化・再資源化を推進するため、4月から毎月第3土曜日に、「古紙」（新聞紙、チラシ・雑誌類、ダンボール）の分別回収を実施します。古紙類は分別すれば資源に変わります。正しい分別と回収日時を守り、ごみの減量化・再資源化にご協力ください。

町のゴミの現状

町では、ごみの減量化・再資源化を基本として分別回収に努めてきましたが、近年は震災の影響もあり、ごみの排出量が増加し続けています。

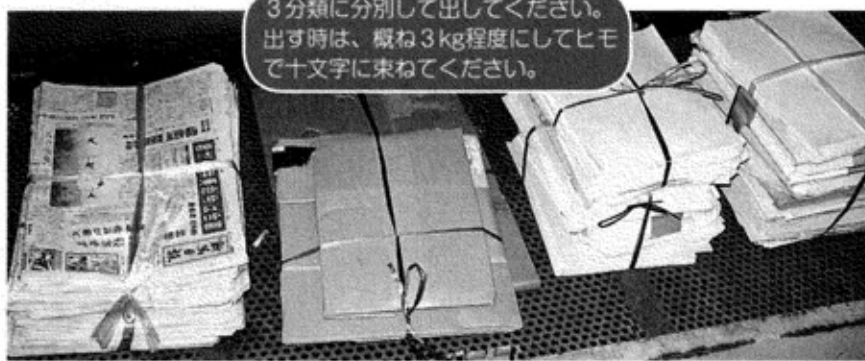
ごみの排出量の増加は、焼却によるダイオキシンの発生や埋立地の不足など環境面での問題の他に、処理費用の増加により町財政をひっ迫させる原因にもなります。

古紙を分別回収する理由は

町内の家庭から発生するごみの量は、平成17年度で1816トンにもなります

が、そのうち約75%に当たる1411トンが可燃ごみとして処理されています。そのごみの中には、再資源化が可能な古紙類が一般的に約2割あると言われていて、各世帯が新聞紙1部300グラム、週刊誌1部500グラムを古紙回収にまわせば、それだけで約200トンのごみが減量されます。

このほかごみの減量化・再資源化に向けての取り組み
町では、「生ごみ処理機購入費補助制度」のほか、各小中学校が行っている廃品回収を交付して、環境に対する活動をサポートしています。また、環境衛生組合では、レジ袋の利用を減らすことで増加傾向にあるビニールごみの減少を目指し、「マイバッグ」の配布を実施します。（詳細は後日お知らせします）
問い合わせ 町民課 ☎89-4418



新聞紙 ダンボール チラシ・雑誌類

3分類に分別して出してください。出す時は、概ね3kg程度にしてヒモで十文字に束ねてください。

古紙の分別方法と出し方

■分別方法

左上写真のとおり、3種類に分別してください。

- 新聞紙…新聞紙のみで束ねる
- ダンボール…ダンボールのみで束ねる
- チラシ・雑誌類…チラシ、コピー用紙、雑誌、本、ノート、手帳、牛乳パック、その他紙類をまとめて束ねる

■回収日

4～12月の第3土曜日（朝8時までに出してください）

■注意する点

- クリップなどの金属類やセロハンテープなどは取り除いてください。
- 出す時は、3キログラム程度にまとめて（持ち運びできる範囲内で）ヒモで十文字に縛ってください。
- 紙くず（束ねられないようなもの）、ティッシュペーパーは、可燃ごみの日に出してください。
- 古紙回収が始まることにより、土曜日の容器包装プラスチックの回収が月1回になります。

ごみ減量化のアイデアを教えてください

「ちょっとした工夫で、我が家のごみが減りました。」「生ごみ処理機をこのように活用しています。」等、ごみに関する皆様のご意見・アイデアがありましたら、広報等で紹介いたしますので町民課までお知らせください。お待ちしております。

がんの予防のために 定期的な「がん検診」を

死因の第1位を占めるのがんです。がんは医療技術の進歩により早期に発見され、適切な処置をすれば完治する病気になりました。早期発見のためには、がん検診が最も有効的な方法です。定期的ながん検診を受け、予防と早期発見を心がけましょう。

がん検診は2つの検診方法に分けられます

がん検診には2種類あり、人間ドック等個人の死亡リスクを下げるための任意型検診と、町や職場等集団全体の死亡率を下げることを目的とした対策型検診です。

定期検診で早期発見を

いすれにしても、まずは定期的な検診が大切です。がんにならないためにも、日々よい生活習慣を心がけ、たとえがんになっても、定期的ながん検診で、早期発見による死亡を減らせるのです。

町等の対策型検診は、決められたガイドラインに沿って、集団で行われます。任意型検診は、がんを発見することを重要視しているため、検査



なお検診は、がんに対する自覚症状が全く無い状態で行う検査で、自覚症状がでてしまってからでは遅い場合もあります。自覚症状がでたら医療機関ですぐに診察してもらってください。

基本健診は 若いうちから毎年受けましょう！

4月26日から基本健診が始まります。震災による生活パランスの乱れから心と身体に相当な負担がかかっているかもしれないと、日頃の健康状態を把握し、心身の変化を見つけて健康の維持・増進のための日常生活を見直すきっかけになります。

町で実施する住民健康診査（基本健診、胃がん・大腸がん・肺がん・子宮がん・乳がん検診）の結果の取扱いについてお知らせします。

住民健(検)診の結果の取扱い

町で実施する住民健康診査（基本健診、胃がん・大腸がん・肺がん・子宮がん・乳がん検診）の結果の取扱いについてお知らせします。

町で実施する住民健康診査（基本健診、胃がん・大腸がん・肺がん・子宮がん・乳がん検診）の結果の取扱いについてお知らせします。

がん検診結果 (平成14年度～平成18年度をまとめたもの)

胃がん…新潟県では以前から消化器系のがんが多く、検診でも毎年数人発見されています。

受診者数	異常なし	要精密検査					がん発見率	
		異常なし	がん発見	がんの疑い	その他	未受診者		
2,746	2,491	255	102	9	0	127	17	0.33%

大腸がん…1990年代から増加し、そのまま横ばい傾向で多くなっています。検診での発見も毎年あります。

受診者数	異常なし	要精密検査					がん発見率	
		異常なし	がん発見	がんの疑い	その他	未受診者		
2,811	2,637	174	79	9	0	74	12	0.32%

乳がん…30歳代からかかる確率が高くなります。早期発見により生存率がかなり高いがんです。

受診者数	異常なし	要精密検査					がん発見率	
		異常なし	がん発見	がんの疑い	その他	未受診者		
1,527	1,420	107	31	2	0	61	13	0.13%

子宮頸がん…20代後半からかかる確率が高くなります。また70歳後半でも増加します。

受診者数	異常なし	要精密検査					がん発見率	
		異常なし	がん発見	がんの疑い	その他	未受診者		
1,500	1,493	7	0	1	0	6	0	0.07%

肺がん…男性に多く、また死亡率も高いがんです。喫煙者や職業性肺がん発生のある方は高危険群です。

受診者数	異常なし	要精密検査					がん発見率	
		異常なし	がん発見	がんの疑い	その他	未受診者		
6,126	5,923	203	81	1	2	88	31	0.02%

早期発見！ 「家族みんなで胃がん検診」

魚沼地域胃がん検診協議会
胃のレントゲン検査では「胃かいよう」や「胃ポリプ」などの良性病変や「胃がん」などの悪性病変がわかります。このような病変を写すため、カラの胃袋を空気でふくらませ、撮影台の上で向きを変えながらバリウムを付着させ写真を撮ります。

最近、精密検査が必要と判定されても「がんがあると怖い」などの理由で精密検査を拒否する方が多くなります。その数年後進行がんとなり、発見されることもあります。小さながんは胃カメラで治療ができ、検診で見つかったがんの20%はこの治療法で治されます。1年1回の検診を受け、早期に治療を開始し胃がんを撲滅しましょう。

男性は女性に比べ胃がんの見つかる割合が高く、40～50歳の女性は非常に進行の早いがんが見つかることが多いです。ぜひ、ご家族で胃がん検診を受診してください。

健診結果は健診の精度向上(質の向上)の調査に役立てます

○検査機関における精密検査結果の把握
検査機関では、「異常なし」「要精検」等の検査結果の判定を行っています。精度向上(質の向上)のため、精密検査結果を把握します。

○がん検診の疫学調査
新潟県は、財団法人新潟県成人病予防協会に委託して、町や医療機関に対し精密検査後の診断結果及び生存状況の調査を行っています。これは

福祉保健課
89-4419

生活習慣予防教室

いきいきアップ教室参加者の声②

(江島保二さん・牛ヶ島)

町健康診断の結果を受けて、昨年初めに、妻とともに「生き生きアップ健康教室」を希望しました。ところが妻の方は、一途に「家事家庭の守り本尊」を決め込んでいて、簡単には同伴は得られそうにない。

「そのうち何とかなるかも」と、ささやかな望みを「持久戦」に託し、当面は一人のみ教室通いを続けながら、自分が教室で習ったことを家で復習などをしていました。

光陰矢の如し、我が待望の「持久戦」はついに、いまだ日の目を見ることなく、早くも一年が過ぎ去りました。

静かに我が身を思えば、数年前、転落事故で骨折した首の中には、いまだに金具が入ったままである。とにかく妻は、こんな自分だけは、よくも機嫌よく教室に送り続けてくれました。その意味では深い敬意を覚えます。

また元来、平均より足が弱かった上に、前記の怪我以来、一定期間だけとはいえ、体を必要以上にいとい過ぎていたことも重なって、教室通いの直前までは、相当に身体機能の衰退を感じていました。

それが、今では明らかに違いが分かります。先ず、足腰の動きが楽になりました。また、車の運転中、一時停止で左右の安全確認をする時も、それ以前に近い状態で、かなり楽にできるようになりました。これは関係機関各位をはじめ、親身にご指導くださいました諸先生方のお陰と深く感謝し、厚くお礼を申し上げますとともに、一緒に頑張ってきた仲間の皆さんが何よりの手本であり、励みとなりました。生ある限り、「なるべく健康で過ごしたい」この願うのは唯に私一人でありましょうか。「食事嗜好にも意を用い、適度の範囲で常に、心身ともに刺激を加える」これが、老化を遅らせる第一の方法だと教わりました。これからは健康管理には努力したいと思えます。

胃・大腸ガン検診の日程変更のお知らせ

胃・大腸ガン検診の日程、受付時間が一部変更となりましたので、お知らせします。

- 新敷、原新田、中新田、川岸、陽向地区
期日 4月18日(水)
受付時間 7時30分～9時
場所 西川口集落開発センター
- 小和北、相川口、岩出原、山ノ相川団地、荒屋、西川口小高地区
期日 4月18日(水)
受付時間 9時～10時30分
場所 西川口集落開発センター
- 西倉地区
期日 5月10日(木)
受付時間 7時30分～8時
場所 西倉集落開発センター

統一地方選挙

・新潟県議会議員一般選挙 投票日 4月8日(日)
・川口町議会議員一般選挙 投票日 4月22日(日)

4月は統一地方選挙として「新潟県議会議員一般選挙」「川口町議会議員一般選挙」が行われます。大切な一票です。棄権することなく投票しましょう。
投票時間は、午前7時から午後8時までです。なお、第4投票区(牛ヶ島地区)、第7投票区(木沢・峠地区)は午後6時までになります。

一部の投票区が変更

投票区の再編成を行い、今までの第3投票区(西川口集落開発センター)と第4投票区(西倉集落開発センター)を統合しました。これにより投票場所を次のように変更しましたので、投票の際は注意してください。
なお、このほかの投票区・投票場所等は入場券に記載してあります。

投票区名	投票場所	地 区
第3投票区	西川口集落開発センター	小和北、相川口、岩出原、西川口小高、山の相川団地、荒屋、新敷、原新田、中新田、川岸、陽向、西倉、牛ヶ島(鷲巣)

選挙当日、都合の悪い方は期日前投票をご利用ください

選挙当日に、仕事や旅行等で投票できない方のため、あらかじめ投票のできる期日前投票制度があります。

○期日前投票の期間、時間
・新潟県議会議員一般選挙
日時 3月31日(土) 4月7日(土)
午前8時30分 午後8時

・川口町議会議員一般選挙
日時 4月18日(水) 4月21日(土)
午前8時30分 午後8時

○期日前投票の場所
役場期日前投票所(役場駐車場に仮設建物を設置して)

4月21日 中山高原公園施設オープン

間もなく新緑の季節を迎えスポーツやアウトドアを行うには絶好の時期となります。震災により一部の施設はまだ使用することができませんが、次のおと公園施設をオープンします。

- 4月21日(土) オープン
- ・テニスコート
- ・多目的広場
- ・野球場
- ・体育館
- ・コテージ
- など

※コテージの詳細はえちご川口農業振興公社(☎89-3000)にお問い合わせください。

○4月28日(土) オープン
・オートキャンプ場
・キャンプ場
皆様の憩いの場として、また交流の場としてご利用をお待ちしています。

問い合わせ 農村振興課 ☎89-3113

新入学(園)児を守る交通安全週間

4月4日から10日まで新入学(園)児を守る交通安全週間が実施されます。新入学の時期を迎え、慣れない通学路を通い始める新入学児が見かけられるようになります。子どものお手本となる交通マナーと安全運転で子どもたちを交通事故から守りましょう。
子どもが外出する時は先行を確認し、一声掛けて注意を促しましょう。

川口町観光協会 平成19年度会員募集

川口町観光協会では、平成19年度の会員を募集します。

会員要件は川口町に事務所・事業所等を有する法人又は個人事業者です。

会員は、各種事業に携わり川口町の観光振興を促進するための活動などを行うほか、観光協会で作成する予定の観光マップやホームページ等で紹介され、広告などを掲載することができます。

- 事業予定
- ・町観光振興に関すること
 - ・観光交流に関すること
 - ・観光マップ作成
 - ・ホームページの立上げ

年会費 3,000円
会費の納入については、総会開催時に徴収します。

締切日 4月末日

申込・問い合わせ
町観光協会事務局(企画商工課内) ☎89-3112

蘇れ、美しき郷・中越！ 深川富岡八幡「葵太鼓」応援コンサート

平成17年に田麦山地区を訪れ、応援コンサートを行った和太鼓グループ・葵太鼓の皆さんが「蘇れ、美しき郷・中越」の願いを込め、再びコンサートを開催します。

和太鼓の勇壮な響きをぜひ楽しんでください。

日時 4月29日(日) 14時開演(13時30分開場)

会場 生涯学習センターホール

問い合わせ 企画商工課 ☎89-3112

よってけてえ〜！ ふれあい市 三国街道 越後川口宿

東川口地区の本町通りで定期的な市「ふれあい市」を開催します。様々な魅力溢れるお店が出店する予定ですので、ぜひお越しください。

日時 4月15日(日) 11時~15時

出店場所 本町通り(安田屋~亀七前)

内容 野菜、山菜、フリーマーケット、リサイクル(予定) ショップ、食品加工品、瀬戸物、植木、花など

実施団体 本町通り復興活性化委員会、東川口震災復興委員会

問い合わせ 内藤電気 ☎89-2079
中島屋 ☎89-2055
安田屋(山森) ☎090-7249-4230

※訂正とお詫び

広報かわぐち3月号2ページの投票立会人募集で町議会議員一般選挙の投票日に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

誤 「4月8日(日)」
↓
正 「4月22日(日)」

不在者投票

県選挙管理委員会の指定を受けた病院や特別養護老人ホームなどに入院・入所している方は、病院・施設で投票できますので、病院等にお尋ねください。



※入場券を持参してください。
あります。

川口町議会議員一般選挙の投票立会人を募集します

町議会議員一般選挙の執行にあたり、町選挙管理委員会では期日前投票と投票日の投票立会人を次のとおり募集します。

○期日前投票
期間 4月18日(水) 4月21日(土)
募集人数 期間中毎日2人
○投票日
期日 4月22日(日)
募集人数 各投票区2人づつ、ただし第1投票区は3人
※投票立会人には報酬が支給されません。
募集締切 4月10日(火)
問い合わせ 総務課(選挙管理委員会事務局) ☎89-3111

役場の組織・職員配置

平成19年4月1日

町議会議長 山崎 良治	議会事務局	事務局長 間野 光晴	町議会、監査に関すること
政策管理監	管理監 長谷川 久	水落 達也	・政策の企画立案、執行管理（総合計画の策定、市町村合併、国民保護計画、防災計画、観光・交流の指導及び総合調整）
総務課	課長 鈴木 政幸	高橋 義法 北村 清隆 川上 敬子 山吉 和浩 渡辺 実 森山 修 星 奈緒美 山田 浩平 大淵 智美	・一般庶務、人事、消防、防災、交通安全対策、選挙、庁舎・庁有自動車管理に関すること ・予算、決算、起債、入札、町有財産の管理に関すること
税務会計課	課長・会計管理者 関 武司	関 隆和 渡辺 諒一 佐藤 恵 中林 直毅 桜井 護 関 雅人	・町税の賦課、徴収、固定資産の評価、国県税の指導等に関すること ・公金の出納に関すること
企画商工課	課長 星野 晃男	関 喜代美 広沢 敏功 野澤 朋史 山田 香織 大淵 正文	・企画、広報・広聴、広域行政、土地利用対策、町総合計画、町営バス、商工振興、労働、観光振興に関すること
町民課	参事 佐藤 誠	岡村 則子 波瀾 智則 岡村 成輝 岡村 茂	・戸籍、住民登録、環境、各種証明、国民年金、国民健康保険、老人保健、介護保険、生活再建支援に関すること
福祉保健課	課長 関 達市	内山 謙一 陣内 美江 須田 裕子 丸山 高之 保坂 淳子 木村奈生実	・社会福祉、障害者福祉、老人福祉、高齢化社会対策、保育園、健康づくり、疾病予防、保健指導、栄養指導、児童手当に関すること
		黒島 幸代 山田佳多子	川口町地域包括支援センター
		東川口保育園 園長 小西美代子 阿部さつき 原 圭以子 広井 康子 栗原 修 渡辺 彩 大淵 葉月	・乳幼児の保育、給食、健康管理、送迎、施設管理に関すること
西川口保育園 園長 井口久美子 山田 知子 高橋 峰子			
農村振興課	参事 阿部 恒雄	桜井 正広 浅間 昌子 小西 喜芳 綱 政直	・農業振興、畜産、園芸、農業経営構造改革支援、農業委員会、総合農政推進、山村振興、林業振興に関すること ・着丘の社公園、公園、集会所の維持管理、温泉施設の管理運営に関すること
建設企業課	課長 丸山 耕一 参事 広井 義市	広井 淳一 佐藤 直利 鈴木 聡 山吉 泰久 古田島重幸 金沢 賢児 山崎 寿 山田 康浩 綱 博之 桜井 尚弥 喜多村竹紀 秋山 仁 山崎 竜一 阿部 孝之	・道路、橋梁及び河川の管理、都市計画整備、道路除雪に関すること ・農村総合整備、農地保全、農業用施設の維持管理、農地農業用施設の災害復旧、治山事業、保安林、林道に関すること ・県営住宅及び町営住宅の施設管理に関すること ・水道・ガス事業に関すること ・公共下水道の維持管理、農業集落排水に関すること ・県営住宅及び町営住宅の入居に関すること ・中越大地震復興基金窓口事務の総括に関すること
教育委員会	教育課	次長 阿部 和真	・学校教育、学校施設、給食センターに関すること ・社会教育、社会体育に関すること ・青少年の健全育成に関すること ・交流体験館事業の運営に関すること
教育長 大淵 公男		渡辺 勝 阿部 和雄 横山 基文 大淵 雅弘 菅原 芳子 真島富士子 笹崎 昌子	

小千谷地域広域事務組合 星野 智

○退職者 関 久一 田中 京子 関 義博

教職員の人事異動

転入された先生

（ ）は前任校
よろしくお願ひします。
○は各学校に配置された教育復興教員です。中越大地震に伴う児童生徒の心のケアや教育相談を行う学級担任の支援などを行います。

- 【泉水小学校】
教頭 藤田 英明
（加茂市 加茂南小学校）
○講師 佐藤 英恵
（小千谷市）
- 【川口小学校】
教頭 久保田 茂
（長岡市 福戸小学校）
教諭 金子 敦子
（出雲崎町 出雲崎小学校）
教諭 井口 泉
（魚沼市 宇賀地小学校）
教諭 寺田 武文
（長岡市 神田小学校）
教諭 小田島正子
（南魚沼市 城内小学校）
学校栄養職員 長谷川奈津子
（長岡市 新町小学校）
○講師 山本富美子
（上越市）
- 【田麦山小学校】
教頭 捧 俊夫
（新潟市 白根小学校）
主事 富所 陽介
（柏崎市 石地小学校）
養護教諭 青木 康子
（新潟市 新採用）
○講師 菊田 潤
（小千谷市）
- 【川口中学校】
教頭 竹田 一昭
（上越市 春日中学校）
教諭 池田 誠
（長岡市 東北中学校）
教諭 金田久美子
（三条市 下田中学校）
教諭 広井 旭子
（小千谷市 南中学校）
教諭 清水康太郎
（新潟市 新採用）
○講師 漆原 純子
（長岡市）
- 【川口小学校】
教頭 江川 京子
（津南町 外丸小学校校長）
教諭 中村 周
（長岡市 四郎丸小学校）
教諭 小林 寿美
（新潟市 竹尾小学校）
栄養主査 元波美和子
（長岡市 西中学校）
- 【田麦山小学校】
教頭 新崎 俊博
（上越市 飯小学校）
教諭 近藤 博道
（小千谷市 片貝小学校）
教諭 伊藤 恭子
（妙高市 新井北小学校）
養護教諭 高木 朱海
（魚沼市 入広瀬中学校）
主事 燕 香奈子
（魚沼市 小出中学校）
- 【川口中学校】
教頭 田村 雅人
（上越市 大湯町中学校）
教諭 高野 文忠
（新大付属長岡中学校）
教諭 本間 奈奈
（三条市 第三中学校）

転出された先生

（ ）は転任校
お世話になりました。

- 【泉水小学校】
教頭 高橋 昌利
（五泉市 五泉小学校）
教諭 小池 昌美
（小千谷市 塩殿小学校）

春の火災予防運動

4月1日(日)～4月7日(土)
「消さないで あなたの心の 注意の火」

平成18年中川口町では6件の火災が発生しました。火を使うときはその場を離れず、使った後は完全に消火するよう、十分に注意してください。

- ### 住宅防火のちを守る7つのポイント
- 3つの習慣
 - ・寝たばこは絶対やめる。
 - ・ストーブは燃えやすいものから離れた位置で使用する。
 - ・ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。
 - 4つの対策
 - ・逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
 - ・寝具や衣類からの火災を防ぐために、防災製品

を使用する。
・火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器を備える。
・お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

関連行事

- 川口町住宅モデル地区
本年4月から住宅防火モデル地区として武道窪・相川・荒谷地区が指定され、年間を通し火災予防各種事業が展開されます。
- その他
常時、防火ビデオの貸出し、消火器の取り扱い講習、防火座談会などを行います。希望する方は事前にご連絡ください。

問い合わせ
小千谷地域消防本部予防課
☎83-0238



かわぐち いきいきびと

よらん会

よらん会は9人の元気溢れる女性グループで、平成11年から活動しています。地元の食材を使用した「五目ちまき」や「醤油おこわ」、「ごまどうふ」などをあぐりの里、川口温泉で販売しており、「五目ちまき」は、四季を通じた食材を使用するこだわりで人気商品です。

同会は昨年のおちご川口生産者協議会の加工部会での年間売上が見事1位に輝きました。



よらん会の皆さん

無理せず元気に

丸山シゲ子

よらん会は「川口町在住の熟女9人、知恵とパワー、一生懸命が自慢のおっかさんの集まり」です。6人で会を立ち上げてから、さまざまな研修会などに参加し、地元の食材を使用した料理を試行錯誤しながら作ってきました。

現在は会員も9人となり、毎週土曜と日曜に「五目ちまき」などをあぐりの里、川口温泉で販売しています。「五目ちまき」は銀杏、水菜、たけのこ、栗、くるみなど四季を通じて食材をかえています。

当初は商品開発の失敗や、食材の分量を均一にすること、ちまき用の笹を集めることなどに苦労してきましたが、商品の販売も軌道に乗り、おちご川口生産者協議会の加工部会で年間売上NO1になることができました。やっぱり会の仲間たちと無理せずと和気あいあいとやってきたことが良かったのだと思います。

これからもみんなで無理せずに長く続けていきたいと思っています。

HOT トピックス

身近な情報をお寄せください! 企画商工課 ☎ 89-3112

集落の再生や活性化に向け 第2回 集落夢づくり交流会 (3月25日)

和南津集会所において「集落夢づくり交流会」が開催されました。

これは地域づくり活動を元気にしている集落や団体が集まり、意見交換などを通して今後の活動の「ヒント」や「きっかけ」、ネットワークづくりを進めるために和南津「わくわく和南美」(代表 丸山清さん)の呼び掛けで行われたもので、昨年の中山での開催に続き2回目です。

当日は町内の7つの団体・集落の各委員など約40人が参加、それぞれの活動状況の発表や意見交換、県震災復興支援課の丸山由明参事からの話などが行われました。

また交流パーティーでは各地域から持ち寄った「食」を食べながら、和気あいあいとこれからの活動などについて語り合っていました。参加者は「地域づくり活動の輪が大きくなってきている」と喜んでいました。



参加団体
わくわく和南美、ふるさと夢づくりの会(中山)、フレンドシップ木沢、いきいき田麦山、はあ〜とふる荒谷塾、和南津そばの郷、田麦山自然塾

田麦山小学校児童、自主制作映画を披露

(3月16日)

田麦山小学校の6年生児童が自主制作した映画を生涯学習センターで披露しました。

これは総合学習の一環として同校児童が「地域について映像でまとめたい」と制作を始めたもので、企画、構成、セリフ、撮影などの全てを児童が考え、3本の映画を約5カ月かけて完成させました。

当日は約80人が来場、自然の大切さをテーマにした「自然からのおくりもの」、熊野神社の歴史や良さをテーマにした「だんだんどうも」、田麦山地区の復興をテーマにした「復興に向けて」を上映しました。

どの映画も多くの地元の方たちにインタビューして制作された力作ぞろいです。この映画はDVDにして同校の卒業式で6年生に配られました。



中山地区林興庵で団子まき

(3月11日)

毎年町内の各お寺では3月15日前後に、お釈迦さまの遺骨を模した団子をまいて、健康で幸せに過ごせるように祈願しています。

中山地区の林興庵で行われた団子まきには、子どもからお年寄りまで約60人が訪れました。

住職がお経をあげた後、無病息災を願って団子まきが始まりました。

団子がまかれるたびにコロコロと転がる団子を追いかけ、本堂は歓声に包まれました。

団子のほかにお菓子などもいっしょにまかれ、子どもたちは袋がいっぱいになるまで拾っていました。



能登半島地震の被災者救援のための県民募金にご協力ください

石川県の被災に際し、中越大震災に際して支援いただいたご厚情にお応えするため、皆様の善意をお寄せください。

- 募集期間 平成19年6月26日(火)まで
 募金方法 次の口座にお振込ください。
 (同一銀行での振込手数料は、無料)
 □ 座 名: 能登半島地震新潟県民募金事務局
 □ 座 番号: 第四銀行県庁支店
 普通預金口座 1275802
 北越銀行県庁支店
 普通預金口座 254081
 大光銀行新潟支店
 普通預金口座 3011216

問い合わせ 能登半島地震新潟県民募金事務局
 (県防災企画課内)
 ☎025-280-5758
 ☎025-280-5716

田麦山街道 春の田麦山自然塾を開催

田麦山自然塾を計画しました。春の陽射しの中、自然と人間のかかわりについて大勢の皆様と語り合いたいと思います。どうぞご参加ください。

日時 4月29日(日) 8時~14時

場所 まぼろし食堂・トレセンランド
 (田麦山向山地区)

内容 田麦山街道クリーン作戦、山菜採り、山野草観察自由走、田麦山街道・相川川フォトコンテスト、ゲスト出演など
 ※山菜を食べる会ほか多数の屋台を計画しています。

問い合わせ 田麦山自然塾(森山正夫)
 ☎89-3418